

チョウ目害虫抵抗性ワタ COT102 系統、チョウ目害虫抵抗性ワタ 15985 系統及び除草剤グリホサート耐性ワタ MON88913 系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に食品健康影響評価の終了した品種*を除く。）に係る食品健康影響評価について

1. 経緯

遺伝子組換えワタ「チョウ目害虫抵抗性ワタ COT102 系統、チョウ目害虫抵抗性ワタ 15985 系統及び除草剤グリホサート耐性ワタ MON88913 系統からなる組合せの全ての掛け合わせ品種（既に食品健康影響評価の終了した品種*を除く。）」については平成 26 年 3 月 5 日付けで遺伝子組換え食品の安全性審査の申請を受理したことから、食品安全基本法（平成 15 年法律第 48 号）第 24 条第 1 項の規定に基づき、食品安全委員会に食品健康影響評価を依頼するものである。

2. 評価依頼品種の概要

本品種は以下の表の遺伝子組換えワタを伝統的な育種の手法を用いて掛け合わせたものである。

項目	概要		
品種	チョウ目害虫抵抗性ワタ COT102 系統	チョウ目害虫抵抗性ワタ 15985 系統	除草剤グリホサート耐性ワタ MON88913 系統
製品の概要	<i>mvip3A</i> 遺伝子の導入によって <i>mVip3A</i> タンパク質が発現し、チョウ目害虫 (<i>Helicoverpa zea</i>) 等に抵抗性を示す。	改変 <i>cry1Ac</i> 遺伝子及び改変 <i>cry2Ab2</i> 遺伝子の導入によって改変 <i>Cry1Ac</i> タンパク質及び改変 <i>Cry2Ab2</i> タンパク質が発現し、チョウ目害虫抵抗性を示す。	改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子の導入によって改変 CP4 EPSPS タンパク質が発現し、除草剤グリホサートに耐性を示す。
宿主	ワタ (<i>Gossypium hirsutum</i> L.)		
挿入遺伝子 (供与体)	<i>mvip3A</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> AB88 株由来)	改変 <i>cry1Ac</i> 遺伝子 改変 <i>cry2Ab2</i> 遺伝子 (<i>Bacillus thuringiensis</i> ssp. <i>kurstaki</i> 由来)	改変 <i>cp4 epsps</i> 遺伝子 (<i>Agrobacterium</i> sp. CP4 株)
抗生物質耐性マーカー遺伝子 (供与体)	<i>aph4</i> 遺伝子 (プラスミド pKC203 由来)	<i>npt II</i> 遺伝子 (<i>Escherichia coli</i> 由来) 改変 <i>uidA</i> 遺伝子 (<i>Escherichia coli</i> 由来)	含まれていない
新たに獲得された性質	チョウ目害虫抵抗性	チョウ目害虫抵抗性	除草剤グリホサート耐性
安全性審査を経た旨の公表 (官報告示日)	2012 年 7 月 19 日	2002 年 10 月 1 日	2005 年 4 月 7 日

3. 利用目的及び利用方法

本品種の食品としての利用目的や利用方法は、従来のワタと相違はない。

* 既に食品健康影響評価の終了した品種

- ・ チョウ目害虫抵抗性ワタ COT102 系統及び除草剤グリホサート耐性ワタ MON88913 系統を掛け合わせた品種
- ・ チョウ目害虫抵抗性ワタ 15985 系統及び除草剤グリホサート耐性ワタ MON88913 系統を掛け合わせた品種